

五葉山美術展に出展 *exhibit!*

五葉山自然倶楽部 森の文化塾主催の「第12回五葉山美術展」が、10月25日～27日の3日間、大船渡市盛町のショッピングセンター サン・リアにて開催された。「国有林の観点から五葉山を紹介するものを展示できないか」との依頼を受けたので、国有林野事業の一つである「森林生態系の保全・管理」をPRできる良い機会と捉え、新たにパネルを作成し、「五葉山と保護林」として出展した。

職場の資料を参考に、来場者が読みやすいように自分なりに整理・作成した。自分なりにとはいっても、採用2年目である私の今回の武器は、前職で培ったデザイン力のみ。校正が真っ赤になるほどの署職員の協力と、職員の写真ストックを頼りになんとか4種のパネルを完成させた。

展示内容は五葉山やその周辺の自然を題材にした写真・絵画・工芸・書道作品のほか、三陸ジオパーク紹介や巨木調査記録など。

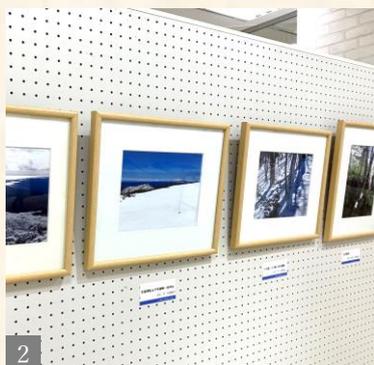
会場には、ふらっと立ち寄った買い物客はもちろん、親子連れから年配の来場者もあり、幅広い世代の方々がじっくりと作品を楽しんでいた。

作家の深田久弥は「日本百名山」の中で「日本人の心の底にはいつも山があった」と記した。9月にはNHK「日本百低山」で、低いながらも人々に愛され、物語を秘めた山として紹介された五葉山。大船渡市、釜石市、住田町に住む人々にとって、五葉山はまさに心の底にある山なのだろう。作品と、それを観る来場者から、その一端を見ることができた貴重な経験だった。

今回は当署長と私も個人で写真を出展してみた。A4サイズで印刷し額装されると、なんとなく立派にはみえたが、スマホで撮った自分の作品をみるとすこし恥ずかしかった。次の開催は2年後の2026年秋とのこと。立派な写真をとれるよう、まずは新しいカメラを買おうと思う。

三陸中部森林管理署 佐々木 慎平

1 三陸中部森林管理署 五葉山と保護林 Sanrikuchubu District Forest Office Goyozan, protection forests



1 展示用バナー
/ 2 写真展示の様子 / 3 チェーンソーアートによるフクロウ / 4 会場入口

1 五葉山生物群集保護林



赤坂コースのツツジ

五葉山は、北上山地南部に位置し、大船渡市、釜石市、住田町にまたがる山で、同山系の中では最も海に近いところにあります。山頂付近は平坦で、三陸のリアス式海岸や、早池峰山・岩手山を望むことができます。

五葉山は樹木の種類が豊富で、コメツガとヒノキアスナロ（ヒバ）を主とする天然林や、五葉山の固有種であるゴヨウザンヨウラク等の貴重な植物群落を楽しむことができます。さらに、カモシカやニホンザル、イヌワシやフクロウなど様々な動物たちが生息しています。

これらの生物群集を保護するため、原則として人手を加えず自然の推移に委ね、学術等に寄与すること目的として、平成14年に五葉山生物群集保護林に設定しました。

2 保護林とは



檜ノ木平の倒木

保護林とは、原始的な天然林などを保護・管理することにより、森林生態系からなる自然環境の維持、野生生物の保護、遺伝資源の保護、森林施業・管理技術の発展、学術の研究等に資することを目的としている国有林野のことです。

国有林では、自然公園法の前身である国立公園法（昭和6年）や文化財保護法の前身である史跡名勝天然記念物法（大正8年）の制定に先駆け、独自の制度として大正4年に保護林制度を発足させて以来、時代に合わせて制度の見直しを行いながら保護林の適切な保護・管理に努めています。

設定した保護林は、森林生態系や野生生物等の状況変化をモニタリングし、その結果を外部有識者からなる保護林管理委員会において評価し、必要に応じて保護・管理方針や区域の見直しを実施しています。また保護林を連結し、その機能を強化した取り組みに「緑の回廊」があります。

3 緑の回廊とは



ゴヨウザンヨウラク

緑の回廊は、地球規模での環境問題が深刻化する中、国有林における広範かつ効果的な森林生態系を保護・保全し、生物多様性を確保する取り組みとして、平成12年に制度化されました。

保護林の機能を高度に発揮させるよう、保護林どうしを連結することにより、個体群の交流を促進し、種の保全や遺伝的な多様性を確保しています。

緑の回廊内の森林については、時間をかけて徐々に針葉樹と広葉樹の混交する森林に誘導することとしています。また、伐採や保育等の森林施業にあたっては、野生動植物の生息・生育に影響しないような伐採箇所や時期を選定したり、営巣などに重要な古木や餌となる植物を残したりするなど、野生動植物に配慮しています。

4 北上高地緑の回廊



大 沢

北上高地緑の回廊は平成13年度に設定されました。北上高地の分水嶺沿いに早池峰山周辺森林生態系保護地域を核として、北は山形村の平庭岳から、南は大船渡市の毛無森山まで、約2kmの幅で約150kmにわたります。

回廊の南端に位置する五葉山を保護林に設定しており、設定面積は民有林と合わせると約19万haになります。

北上高地は牛馬の放牧などにより、古くから林地が高度に利用されてきた地域であるという地域特性を踏まえつつ、緑の回廊のルート上の民有林や県立自然公園とも連携することとしています。